



T コマンド

この章では、T で始まる Cisco NX-OS ユニキャスト ルーティング情報ベース (RIB) コマンドと転送情報ベース (FIB) のコマンドを示します。

test forwarding distribution perf

Forwarding Information Base (FIB; 転送情報ベース) 転送分散のパフォーマンスをテストするには、**test forwarding distribution perf** コマンドを使用します。

test forwarding distribution perf

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、転送分散のパフォーマンスをテストする例を示します。

```
switch# test forwarding distribution perf
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding distribution	FIB に関する情報を表示します。

test forwarding inconsistency

Forwarding Information Base (FIB) のレイヤ 3 整合性チェッカーをトリガーするには、**test forwarding inconsistency** コマンドを使用します。

```
test forwarding inconsistency [ip | ipv4] [unicast] [vrf vrf-name] [module {slot | all}]
[stop]
```

構文の説明

ip	(任意) IPv4 ルートの不一致チェックを指定します。
ipv4	(任意) IPv4 ルートの不一致チェックを指定します。
unicast	(任意) ユニキャスト ルートの不一致チェックを指定します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) コンテキスト名を指定します。 name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
module	(任意) 1 つまたは複数のモジュールの不一致チェックを指定します。
slot	モジュール番号。範囲はプラットフォームに依存します。
all	(任意) すべてのモジュールの不一致チェックを指定します。
stop	(任意) 不一致チェックを停止します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、すべてのモジュールのレイヤ 3 整合性チェッカーをトリガーする例を示します。

```
switch# test forwarding inconsistency module all
```

次に、すべてのモジュールのレイヤ 3 整合性チェッカーを停止する例を示します。

```
switch# test forwarding inconsistency module all stop
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear forwarding inconsistency	FIB 不一致をクリアします。
show forwarding inconsistency	FIB 不一致に関する情報を表示します。

■ test forwarding inconsistency